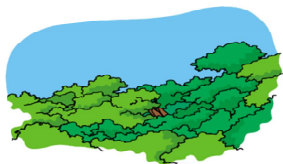


よこすか E C O 通信

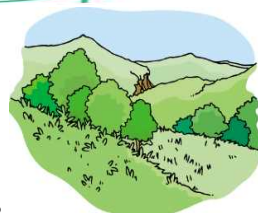


第32号(平成31年3月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議



横須賀の自然環境



横須賀市は首都圏にありながら、自然にめぐまれた美しいまちです。
みどり、川、海などの自然とそこに生息するさまざまな生き物は、かけがえのない大切な財産です。
今ある自然環境を守り、より良い環境にしていくために、横須賀市の自然を知り、その大切さについて考えてみませんか？



横須賀エコツアー



横須賀エコツアーは、自然環境や歴史・文化を活かして、それら資源の保全に配慮しながら、エコツアーガイドが横須賀の自然を案内するツアーです。

自然や地域に関連する文化の紹介、あそび等の活動をとおして楽しく自然とふれあいます。

【4つのエコツアーフィールド】

エコツアーフィールド	フィールドの特徴	ツアー実施団体等
猿島	東京湾唯一の自然島で無人島 要塞跡が残る近代化遺産や自然・歴史・伝説など、 みどころ・ききどころが満載	猿島公園専門ガイド協会
観音崎	東京湾に突き出して、横須賀市の一番東側に位置し、 浦賀水道を行き交う船が望めるところ 要塞跡が残る近代化遺産や群落で広がる海岸植物・ 多種のシダ類などがみどころ	観音崎公園フィールドレンジャーの会
大楠・西海岸	三浦半島の西に位置し、横須賀市内で一番まとまったみどりが残るところ 美しい風景と、歴史遺産や古くからの生活文化などがみどころ	おおくすエコミュージアムの会
長井・荒崎	相模湾に面し、岩礁や砂浜などさまざまな形態の自然海岸が残るところ 海岸の豊かな自然や農業・漁業などの人と自然のつながり、歴史などがみどころ	長井地域運営協議会 (ガイドは地域の未来を考える会WAFA)

☆2面の「春の環境学習講座などのお知らせ」で募集中のツアーを掲載しています。

2面は春の環境学習講座などのお知らせ、3面は『横須賀かんきょうフォーラム2019』、4面は季節の自然図鑑（今回は「横須賀にやってくる昆虫たち」です）を掲載しています。



春の環境学習講座などのお知らせ



横須賀市自然・人文博物館

〇トピックス展示「新着標本2019」

日 時 ～4月14日(日)

場 所 自然・人文博物館 本館1階展示室

内 容 今年度に新しく受け入れた標本や、新しく分類・整理を終えた標本など、さまざまな分野の未公開の標本のうち、よりすぐりの一部について紹介します。



〇トピックス展示「さよなら平成展」

日 時 ～5月6日(月)

場 所 自然・人文博物館 本館2階展示室

内 容 残りわずかとなった「平成」を振り返るため、貴重な博物館資料だけでなく、新聞や書籍、コンピュータや玩具などの身近な商品を展示します。



開 館 9:00～17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料 無料

問合先 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95
電話824-3688



小中学生の土曜体験プログラム すかっ子セミナー2019

生きる力を育む課外活動に参加してみませんか？

対 象 市内の小学校3年生～中学生(原則)

活動期間 各コース5月～10月、各月1回土曜日

主 催 市民活動団体による“すかっ子セミナー実行委員会”

【募集コース】

コース	分野・コース名	募集人数
1	生活環境A エコニコ・サークル	10
3	生活環境B 作って食べて、いろいろ学ぼう	12
5	自然環境A 川がき探検隊	20
6	自然環境B 自然ふれあいの森たんけんチーム	10
8	自然環境D 海っ子・山っ子	15

参 加 費 1コース4,000円、2つのコース受講の場合7,000円

申 込 学校等に配布の「募集チラシ」を確認の上、申し込むこと

募集期間 4月1日(月)～27日(土)

問 合 先 電話046-823-1965(YPS事務局 藤澤)



横須賀エコツアー

横須賀の自然・歴史・文化遺産をエコツアーガイドがご案内します



《大楠・西海岸フィールド》

4/21(日) 13:30～14:30

エコツアー講演会「海のモノ 物語」

かつての漁の様子や、地域の人々の海の暮らしのお話

講 師 辻井善弥氏(民俗研究家)

場 所 西コミュニティセンター学習室

参加料 無料

定 員 当日先着40人

5/25(土) 9:00～14:00

大楠山の植物観察会

講 師 大森雄治氏(元横須賀市自然・人文博物館学芸員)

集 合 大楠芦名口バス停(当日直接集合場所へ)

参加料 大人300円、小・中学生100円

持ち物 お弁当、飲み物、ルーペ(ある人のみ)



【ガイド&問合先】おおくすエコミュージアムの会
電 話 080-1200-8143

《猿島フィールド》

4/27(土) 9:30～16:10

観音崎から走水低砲台跡と新緑の猿島公園ガイドツアー

集 合 観音崎バス停

定 員 抽選50人

申込期間 4月1日(月)～19日(金)に往復はがきで

公園管理課へ(〒238-8550 公園管理課宛で届きます)

参加料 中学生以上2,500円、小学生1,300円

(※別途路線バス代がかかります)



【ガイド&問合先】猿島公園専門ガイド協会
電 話 080-6655-0557

《観音崎フィールド》

5/19(日) 10:00～12:30

浦賀水道を航行する世界の船を見てみよう

集 合 9時50分に観音崎公園ボランティアステーション

定 員 先着20人

申込期間 5月11日(土)～17日(金)

参加料 中学生以上200円

※小学生以下は保護者同伴で無料

【ガイド】観音崎公園フィールドレンジャーの会

【問合先】観音崎公園パークセンター

電 話 046-843-8316

FAX 046-844-4150

メール info-kanonzki@kanagawaparks.com



まなびかんで開催する「市民大学」にも、海、植物、環境に関する講座があります。

詳しくは、まなびかんHP (<http://manabikan.net/>) をご覧ください。

※横須賀市主催の事業については議会の議決を受けて実施するものです。

市内の環境活動を紹介する

「横須賀かんきょうフォーラム2019」を開催しました

1月26日（土）にヨコスカ・ベイサイド・ポケットで、「横須賀かんきょうフォーラム2019」を開催しました。横須賀いいね★エコ活動賞や環境ポスターコンクールの表彰式、環境活動のステージ発表、東京大学サイエンスコミュニケーションスクールCASTによる『失われた実験道具を取り戻せ！空気博士のサイエンスショー』の他、フロアでは市内の学校や団体、神奈川県、横須賀市の環境に関する取り組みのパネル展示や環境ポスターコンクールの入選作品も展示しました。

1 表彰式

- 環境ポスターコンクール 入選者22人
- 「横須賀いいね★エコ活動賞」
【学校短期活動の部】2団体
望洋小学校4年生
県立横須賀高等学校文化祭装飾係
- 【功労賞】8団体
横須賀「水と環境」研究会
すかっ子セミナー自然系A&Dコース
よこすか市民会議1000年の森をつくる会
水辺公園友の会
三浦半島昆虫研究会
三浦半島自然保護の会
大津中学校特別支援学級（やまもも）
津久井の自然を守る会



2 発表！私たちのエコ活動

- 逸見小学校は、カブトムシハウスづくりと生き物の命を守る池づくりについて劇と歌で紹介
- 望洋小学校は、ピオトープの生態系や地域の環境を守る大切さについて発表
- 県立横須賀高等学校文化祭装飾係には、リサイクリエーションを応用し詰め替えパックから作成したブロックを使用して文化祭のモニュメントを作るという取り組みについて紹介
- 津久井の自然を守る会は、津久井小学校との田植え・稲刈りやホタル自生地の保全再生、不法投棄防止活動などの取り組みについて発表

3 失われた実験道具を取り戻せ！ 空気博士のサイエンスショー

東京大学CASTによる、＜空気博士＞と＜溶かす博士＞の科学実験をテーマにしたサイエンスショーでは、大きな風船が浮いて回ったり発泡スチロールが溶けたりと面白い実験をしていただきました。最後には、巨大空気砲も登場しました。



4 フロア展示

市内の学校や団体、神奈川県、横須賀市などの活動紹介のパネルが、工夫を凝らして展示され、みなさん熱心に見学していました。また、スカリンボードには、「自然を大切にしよう」「スイッチは切る」「ごみをポイ捨てしないようにしよう」など、たくさんの環境に関するメッセージが寄せられました。



「横須賀いいね★エコ活動賞」受賞団体の活動内容

「横須賀いいね★エコ活動賞」は、環境意識の向上と環境活動の活性化のため、市内の市民団体、学校等における「いいね★」といえる環境活動を表彰する制度です。

平成30年度は、学校等での1年以内の活動が対象の【学校短期活動の部】から2校、過去に横須賀ECO大賞（旧表彰制度）を受賞してから4年以上経過し現在も継続中の活動が対象の【功労賞】から8団体・学校が受賞しました。本号では、【学校短期活動の部】の2校の活動内容をご紹介します。



望洋小学校4年生 ★望洋環境保全賞★

昨年度、総合的な学習の時間で、身の回りの環境のことについて勉強しました。

私たちの学校にはピオトープがあり、その環境について、地域のピオトープ名人に教えてもらいました。そこで環境を守る大切さを知り、ピオトープの環境を守ったり地域の公園の美化に取り組んだりする活動も行いました。

1年間の学習を通して、環境を守るということは、一人一人の活動の積み重ねが大切なんだと感じました。



望洋小学校
4年生

県立横須賀
高等学校文化
祭装飾係



県立横須賀高等学校文化祭装飾係

★文化祭リサイクル企画賞★

「花王株式会社様」が実施している『リサイクリエーション』事業を、「面白法人カヤック様」などのご協力のもと、横須賀高校文化祭におけるモニュメント作りに応用した。本校生徒および教職員全員に対し、シャンプーなどの日用清潔品の「詰め替えパック」の回収を依頼し、プロジェクト始動から文化祭本番までの約2ヶ月の間に、約2,700パックを回収。約2,700パックから作られるのは、およそ8cm×16cm×7.5cmの大きめの「ブロック」約270個。この「ブロック」を用いて、文化祭におけるモニュメントを作製し、文化祭当日は、「写真スポット」として活躍したと共に、SNSなどを通じその活動内容が地域へと共有された。文化祭が終了した現在でも、生徒会を中心として、詰め替えパックの回収が続けられている。



動物や植物は、自分自身やタネを遠くへ移動したり運んだりすることによって、分布をひろげたりより良い環境を見つけたりします。生物が生息地を拡大しようとするのを「分散（ぶんさん）」と呼ぶことがありますが、私たちの身の回りの自然は、一つひとつの生き物たちの分散の結果とみることができます。

秋になると横須賀でもたくさん見られるウスバキトンボは、春に日本の南の方で繁殖しながら分散し、北へ移動する集団の一部が夏ごろに横須賀でも繁殖をはじめものの、冬には死滅してしまいます。一時的には北海道まで分散するのに、日本の大部分の場所では越冬できない——移動した先の場所で一年を通じて生活（定着）できず、新たな生息地にならない分散を「無効分散（むこうぶんさん）」と呼びます。チョウの仲間でもしばしばみられ、横須賀ではウラナミシジミもまた無効分散をすると考えられます。



ウスバキトンボ



ウラナミシジミ

分散には、自らの運動による自発的なものと、風や海流による受動的なものに分けることができます。自ら飛ぶものの風にも流されるという中間的なケースや、受動的なものには人間活動が関与するケースがあったりもします。それほど多くはありませんが、横須賀でも台風の後には南西諸島にのみ分布するメスアカムラサキが飛来したことがあります（無効分散でした）。アカボシゴマダラ（大陸産亜種）は、人間によって外国から持ちこまれたものが、食草のエノキを足がかりに定着し、やがて横須賀へも分散しました。



メスアカムラサキのオス標本。
スケールは1 cm. 1985年9月
30日に横須賀市太田和に飛来。
（標本は自然・人文博物館所蔵）

アカボシゴマダラ



身近な自然環境は時間とともに変化します。気候の変動や土地利用の変化によって、他の地域からの分散に成功した生物がいれば、以前から生息していたのに死滅してしまう生物もいます。新たに定着した生物によって変化したり、死滅したことで空いたりした環境が、他の生物の分散の足がかりになることで、自然環境はさらに複雑に変化します。やがては変化することを思うと、その時々々の自然環境の「今」をきちんと調べないといけな、という気持ちになりますね。

（横須賀市自然・人文博物館 内船俊樹）

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523
E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

